

2024 年 9 月 26 日

九州電力株式会社

非化石証書の販売収入を非化石電源の維持・拡大に活用しました

— 2023 年度非化石証書販売収入の使途をお知らせします —

当社は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入拡大や原子力発電の安全・安定運転により、非化石電源（再エネ、原子力発電等）比率の国内トップランナーです。

これらの非化石電源の発電により生じる非化石証書については、他小売電気事業者のエネルギー供給構造高度化法^(注)の目標達成を後押しするため、積極的に販売しており、2023 年度は 104 億円の収入を得ることができました。その収入は再エネ（地熱・水力の非 FIT 電源）の開発・リプレースや、原子力発電所の安全対策工事等、非化石電源の維持・拡大のために全て活用しましたのでお知らせします。

（注）エネルギー供給構造高度化法では、小売電気事業者に 2030 年度に調達する電源の非化石電源比率を 44%以上にすることを義務付け。2020 年度から中間目標が設定され、目標達成の手段として、非化石証書の取引が開始された。

九電グループは今後も、カーボンニュートラル社会の実現に向け、低・脱炭素のトップランナーとして、非化石価値の提供と非化石電源への投資の循環を促進することで、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指します。

----- 非化石証書販売収入の活用例 -----



地熱発電所の新規開発に向けた地点資源調査
（噴気試験）

※九電みらいエナジー㈱提供（2024 年 4 月より地熱事業を承継）



水力発電所のリプレース [玉島発電所]
（左：水車・発電機の搬入、右：水車・発電機取替後）



以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。